

「AIを導入する」から
「AIとともに進化する」へ



現場のナレッジをAIと結びつけ、導入から定着・改善まで伴走しながら、業務変革と持続的な競争力強化を支える仕組みを提供します。

企業の知を最大限に活かし AIとともに持続的な業務変革を実現します

ナレッジ × AI × 伴走支援の 三位一体モデル

1. 20年以上のナレッジマネジメント実績

20年以上にわたりカスタマーサポートや製造分野で日本企業の知識共有を支えてきた実績をもとに、AI導入の先にある『知識活用 × 業務変革』の視点から安心の支援を行います。

2. 貴社固有ナレッジとの直結

マニュアルや過去事例、専門知識といった貴社固有の情報をAIに取り込み、汎用AIを超えて“貴社仕様のAI”として実務に直結する成果を実現します。

3. 導入から定着までを伴走

業種別テンプレートにより“ゼロから作る”のではなくフィッティング中心で導入でき、専任不要の安心体制で伴走します。支援の中でAI人材は育ち、ノウハウはSolutionDeskに蓄積され続けます。小さく導入して改善を重ね、全社展開も可能。

4. 人とAIの協働を自然に実装

チケットを介した業務フローにAIを組み込み、既存業務を大きく変えずに導入可能。現場に自然に溶け込み、成果を出し続けるAIを実現します。

ナレッジとAIを結びつけ、成果へと導く

生成AIは急速に普及していますが、「導入したが十分な成果を得られない」「専門人材がないため試せない」といった課題を抱える企業も少なくありません。その要因は、自社固有の業務知識やノウハウをAIと結びつけられていないこと、そして小さく試し改善を繰り返すアジャイルな運用体制がないことがあります。AI活用を成功させるには、自社のナレッジをAIに取り込み、現場で試行錯誤しながら業務に浸透させる“伴走型の取り組み”が不可欠です。

SolutionDeskは、そのために必要なナレッジ基盤・AIエージェント・伴走支援を一体提供するソリューションです。これによりAIは単なる効率化ツールにとどまらず、現場の一員として成果を出し続ける存在へと進化します。

ナレッジ × AI × 伴走支援の三位一体モデルにより、SolutionDeskは導入から定着・拡張までを一貫して支援し、企業の業務変革と持続的な競争力強化を実現します。

ナレッジマネジメント基盤

業務知識や過去事例、手順を体系化し、AIが直接参照できる環境を整備。

これにより属人化したノウハウを全社で共有し、標準化と高度化を同時に実現します。

AIエージェント機能

チケットを介して人と協働し、日常業務に自然に組み込まれるAI。

AIオート／SDオートの二つのアプローチにより、柔軟な判断業務から正確性の求められる定型処理まで幅広く対応します。

ナレッジ×AI[®] 伴走支援サービス

導入から定着・改善までを継続的にサポート。

小さく始め、改善を繰り返しながら全社展開へと拡張できるため、専門人材がいなくても安心してAI活用を推進できます。

知識を整理し、AIに直結

ナレッジ基盤



SolutionDesk

- ・業務知識を体系化
- ・AIが直接参照

AIと人の協働で自動化

AIエージェント



専門人材不要で安心

伴走支援



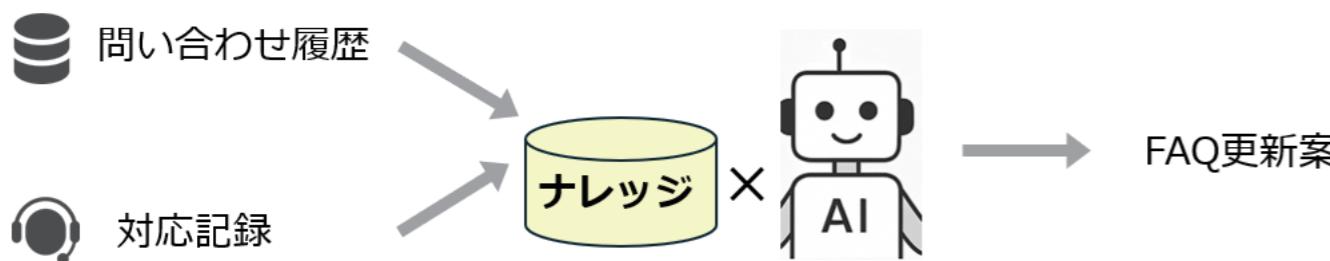
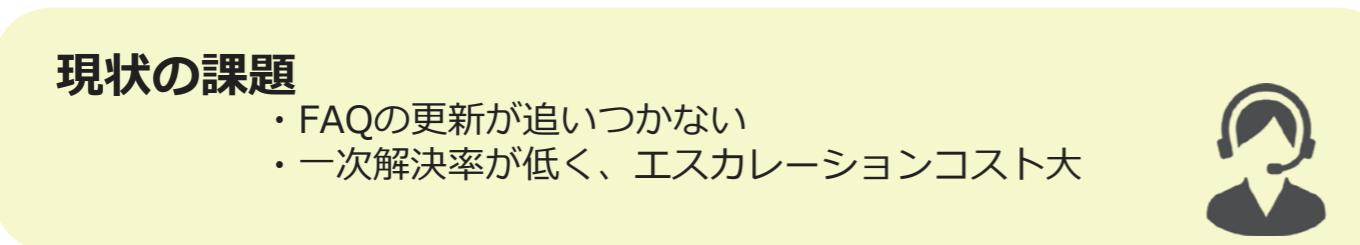
- ・AIが現場で働く「同僚」に
- ・日常業務に自然に組み込まれる

- ・導入から改善・拡張まで継続支援
- ・小さく始めて大きく成果へ



カスタマーサポートのナレッジ×AI®活用シーン

活用例：一次解決率の改善

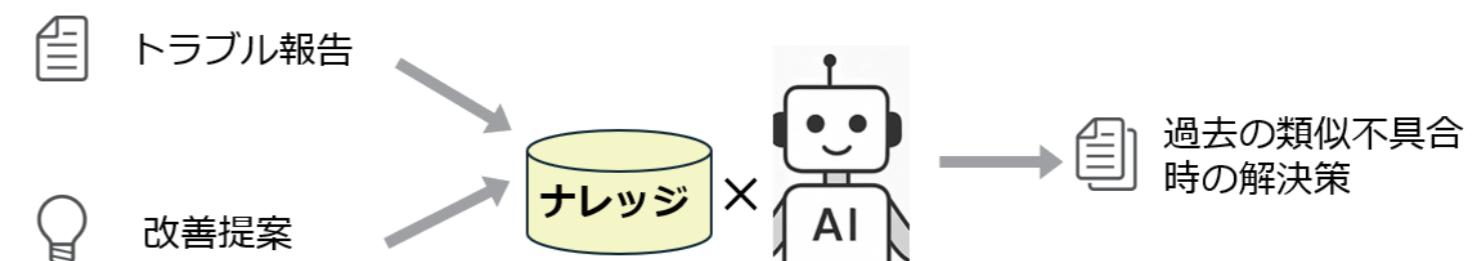
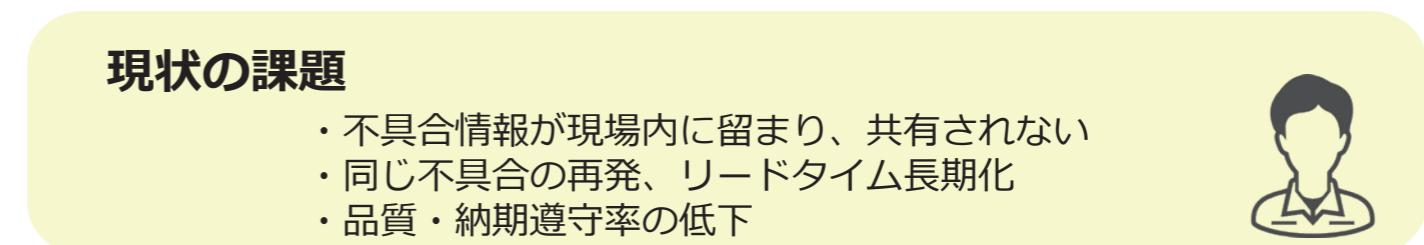


顧客満足度・対応コスト両面で改善

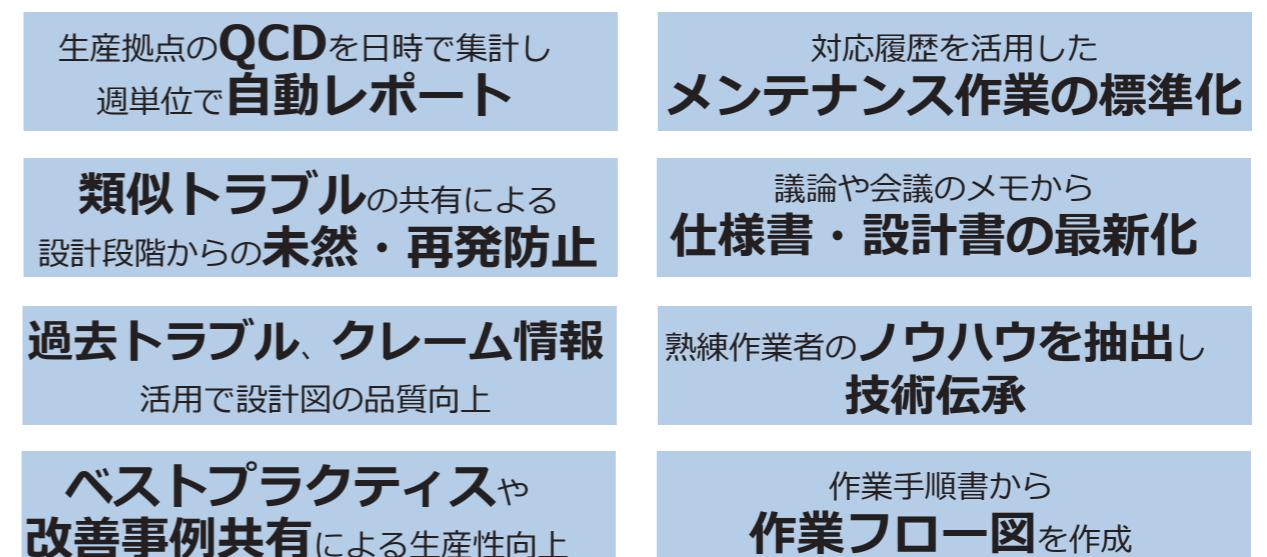


製造現場のナレッジ×AI®活用シーン

活用例：組立工程の品質向上と納期遵守



不具合再発防止、納期遵守率UP

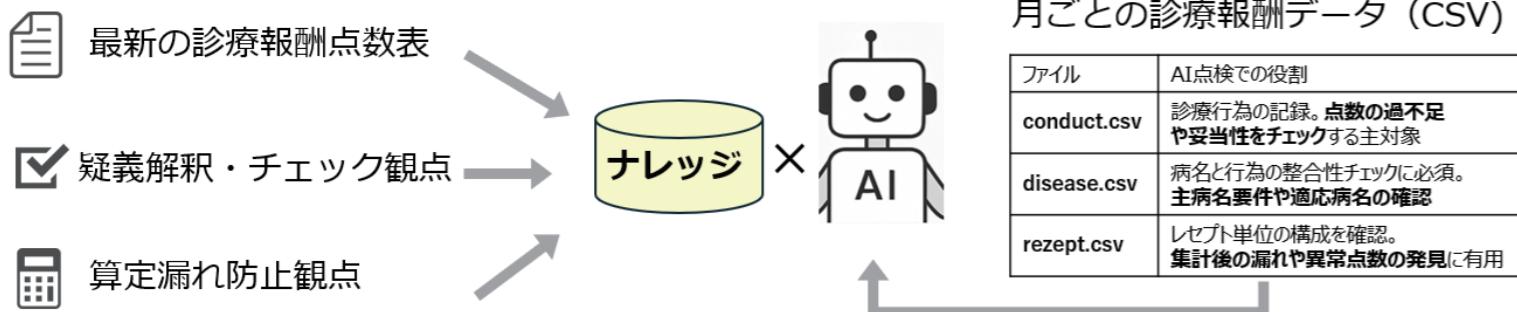


医療現場のナレッジ×AI®活用シーン

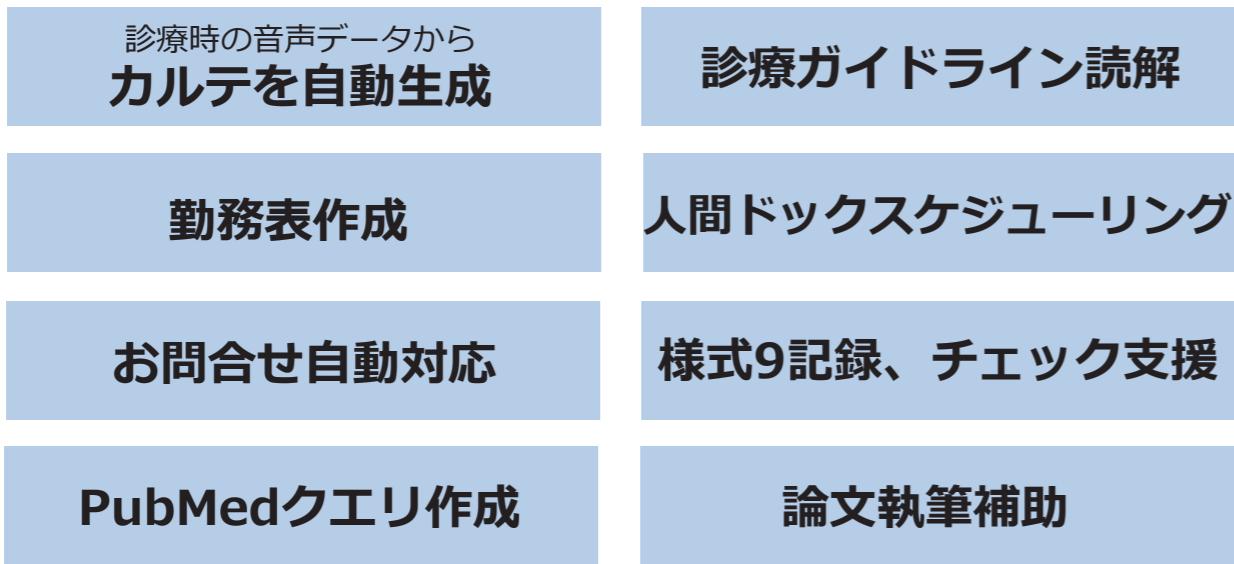
活用例：診療報酬請求の精度向上

現状の課題

- ・レセプト（診療報酬）申請でエラーが頻発
- ・差し戻し対応で膨大な時間・収益機会損失
- ・経営リスクの顕在化



請求精度UP、経営リスクを大幅に低減



ナレッジ×AI®で業務革新

SolutionDeskの特長

ナレッジ×AI®伴走支援サービス

ナレッジ×AI®業務革新テンプレート

今後、企業が勝ち残り成長していく上で、生成AIの業務活用は無視できない技術的インパクトをもたらします。しかしながら今は導入の黎明期であり、方法論や成功事例はまだ少ないのが現実です。確立を待っていては競合に遅れを取ります。そこで当社は、経営者や業務責任者がすぐに導入し成果を試せるよう、用途ごとに複数のAI業務アプリを用意しました。この一式が「業務革新AI導入テンプレート」です。

このテンプレートは「ゼロから作らない導入方式」が最大の特徴です。生成AIとナレッジが組み合わさった「るべき業務構造」をモデルとして可視化し、AIとナレッジがどこで結びつき価値を生むのかを直感的に理解いただけます。さらに、貴社の手順・用語・権限・連携システムに合わせてフィッティングやチューニングが可能で、短期間で“貴社仕様”に最適化できます。

またテンプレートは拡張性を前提に設計されており、業務やビジネスポリシーに応じたカスタマイズも容易です。フィッティング作業にはAIを活用でき、迅速な適合を実現します。さらにAI業務アプリの集合体として提供しているため、まずは一つの業務、一つのアプリから小さく導入し、効果や運用性を確認しながら対象範囲を広げていく段階的な導入も可能です。

伴走支援体制

AI導入は一度きりのプロジェクトでは成果が限定的です。小さく導入し、気づきを得て、改善を重ね、成果を広げる。このサイクルを継続的に回すことで、AIは初めて現場に根付きます。アクセラテクノロジは、このプロセスをお客様と共に進めるために「伴走支援」を提供します。

多くの企業で課題となるのは「システム担当者への依存」です。導入当初は順調でも、担当者の異動や退職で改善や運用が止まり、成果が持続しない。これは経営層にとって大きなリスクです。当社の伴走支援は、このリスクを解消し、属人化を防ぐ仕組みを備えています。

まず、導入から定着に至るまでの運用サポートを継続的に提供します。情シス部門やヘルプデスクの役割も代行し、現場からの問い合わせ対応や改善提案を続けることで、お客様が「やってみたいこと」をすぐに形にできます。また、AIや業務環境が変化しても、テンプレートのカスタマイズやナレッジ更新を通じて、常に進化した業務環境を維持できます。

さらに、専門人材を新たに配置する必要はありません。伴走支援のプロセスの中で、自然とお客様企業内にAIを使いこなせる人材が育ち、ノウハウはSolutionDeskに蓄積されていきます。属人化のリスクを抑えつつ、社内のスキル向上と業務変革を同時に実現できるのが大きな特徴です。当社の伴走支援は「スマートスタートから全社展開まで」を前提としています。部門単位で現実的なコストから導入を始め、成果をもとに改善を重ねながら段階的に広げる。短期的な効果と長期的な定着を両立させ、企業がAI活用を“試す段階”から“成果を出し続ける段階”へと進むための基盤を築きます。

SolutionDeskのAIエージェント

SolutionDeskのAIエージェントは、異なる特性を持つ2つの自動化エンジン、「AIオート」と「SDオート」によって、業務の柔軟な自動化と拡張性を両立します。アイデアをすぐ自動化できる「AIオート」と、安定運用に強い「SDオート」を、業務や目的ごとに使い分け・組み合わせることが可能。カスタマーサポート、製造業、医療など、あらゆる業務の現場で「定着するAI自動化」「現場力を高めるAI活用」を実現します。

AIオート: AI判断型エージェント

「AIにこんなことをさせてみたい！」という現場のアイデアを、すぐに試して実現できます。プロンプト（AIへの指示文）をそのままナレッジとして保存・共有できるため、アイデアを組織の資産として蓄積可能。メールの受信や指定した時間での自動実行など、さまざまなトリガーを設定するだけで、AIが自動で業務をこなします。

SDオート: プログラム型エージェント

一度作成したプログラムコードをAIが繰り返し実行することで、正確性が求められる定型業務を安定して自動化します。生成AIが苦手とする数値計算や統計解析、最適化問題などのアルゴリズムの実行を得意としており、高い精度が求められる業務にも対応。トライアル（PoC）で効果が確認できた業務を、本格的に自動化するのに最適です。

柔軟なAI活用方式

AIに質問を投げかけても「思っていた回答が出てこない」と感じることはありますか？ SolutionDeskでは、AIにナレッジを「正しく使わせる」ための、柔軟なAI活用方式を用意しています。

DAG: 特定の情報を参照

「このマニュアルを読んで答えよ」と、情報源を明確に指定する方式です。特定のガイドラインや社内規定など、参考すべき文書が明確な場合に最適です。AIは指定された情報のみを用いて回答を生成するため、誤情報のリスクを最小限に抑え、高い信頼性が求められる業務に有効です。

ドリルダウンRAG: 情報を絞り込んで活用

通常のRAGの課題である「似て非なる情報」の混入を防ぎ、必要な情報だけをAIに渡す方式です。製品名、モデル年、機能などの条件でナレッジを絞り込んだ上でAIが検索・生成を行うため、よりピンポイントで正確な回答を引き出すことができます。

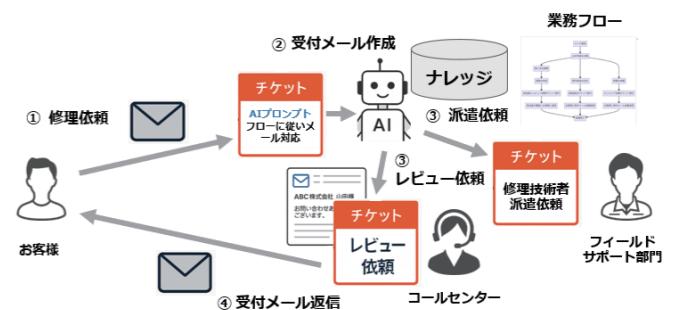
ARG: 全件参照で網羅的な 判断・分析を実現

AIが「すべて」の関連情報を読み込み、集約・比較・分析を行う方式です。検索結果の一部に頼るのではなく、指定された範囲のナレッジを漏れなくAIに処理させることで、人手では時間と手間がかかる網羅的なチェックや複雑な集計・分析業務を自動化します。

チケットを介した「人×AIの協働」

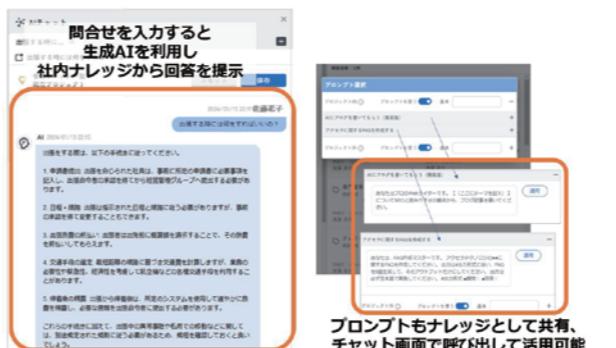
チケットで人とAIが連携する業務フローを実現

タスク管理の基本単位であるチケットを用いて、「人→人」「人→AI」「AI→人」「AI→AI」といった柔軟な割り振りを実現します。AIを一担当者として業務フローに自然に組み込むことで、既存の仕組みを大きく変えずに導入可能です。結果として、人とAIの最適な役割分担が可能となり、業務効率化と現場力強化を両立します。



ナレッジ×AI®

企業独自のナレッジを対象に生成AIを活用



社内ナレッジを対象としてAIを活用できます。例えば「出張時の手続きは？」と問い合わせると、ナレッジベースに登録された業務規程や社内手続きFAQをもとに、その会社独自のルールに基づいた回答を提供します。

生成AIをナレッジベースと紐づけずに使用することも可能です。APIを活用することで学習データとして蓄積されないため、セキュリティ面からも安心です。さらに、プロンプトの保存・共有もSolutionDeskで完結、社内の誰もが業務でAIを効果的に活用することができます。

企業内にあるファイルサーバーデータを生成AIで活用

ファイルサーバー、BOX、Googleドライブ、社内ポータル、Notes内に蓄積されたコンテンツをそのまま生成AIの参照元として活用することができます。コンテンツがどこに格納されているかを知らないでも、AIチャットで必要な情報を得ることができます。SolutionDeskにコンテンツを自動でアップロード、同期も日々自動で行われるため、更新や削除の手間がなく、AIが古いデータを参照するリスクも避けられます。



選んだナレッジをお客様向けFAQとして公開

1ステップでお客様向けFAQ公開も可能

蓄積されたナレッジのうち、公開したい情報のみをWebサイトでお客様向けにFAQとして公開できます。公開用URLが自動生成されるため、手順は製品サイトへリンクを挿入する1ステップのみ。これによりFAQの管理工数を削減できるだけでなく、常に鮮度の高いナレッジを提供し、お客様の自己解決を促します。



AIチャットボットでお問合せ対応自動化

シナリオ作成や学習不要! AIチャットボット「ナレッジロボ®」



「ナレッジロボ」はシナリオ作成や事前学習不要で、FAQやマニュアルなど公開ナレッジに付与された「タグ」の情報をもとに動作するAIチャットボットです。

お客様は話し言葉で質問でき、その質問に対して対話的に対象製品、お困りごとなどを絞り込みAIに適切な情報源を参照させることで、精度の高い回答を実現します。

企業のWebコンテンツを“届く情報”に変える WebRAG型AIチャットボット

「Webサイトに情報は掲載しているのに、問い合わせが減らない」という課題をお持ちの企業は多いのではないかでしょうか。「ナレッジロボ」はWebRAG型AIチャットボットで、Webサイトに公開されている情報をAIの参照元として設定できます。Webサイト全体をクロールし、インデックス化された情報をもとに自然な対話形式で回答を生成します。

お客様は検索ワードやページ階層に縛られず、直感的に情報にアクセスできます。またWebサイトを更新すれば、AIの回答内容に自動で反映されるため、チャットボットの更新・管理の手間も不要です。



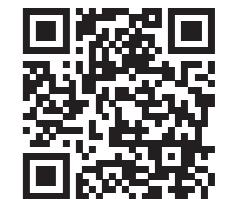
SolutionDesk 3つのプラン

エントリー 少人数や少数部門でのご利用に最適なエディション

オススメ! **スタンダード** 組織全体での幅広い活用に適したエディション

プレミアム ナレッジのWeb公開など、より高度な活用に対応したエディション

3つのプランの違いやサービスの詳細については
Webサイトにてご確認ください。

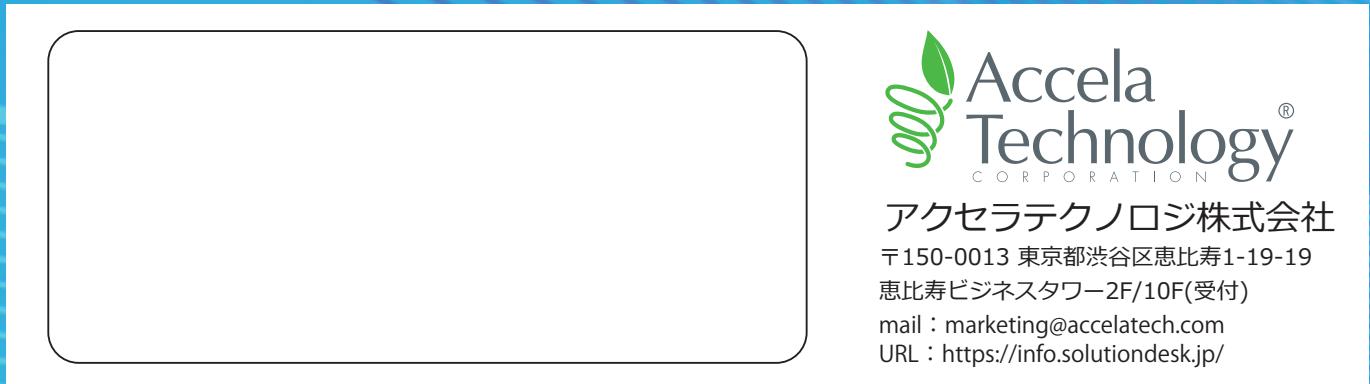


SolutionDeskの詳細・最新情報はWebサイトにてご確認ください。

<https://info.solutiondesk.jp/>

SolutionDesk 検索

AI機能で利用可能なGPTモデルについては、最新情報をWebサイトにてご確認ください。（<https://info.solutiondesk.jp/>）
本サービスには、当社が取得した特許（第5993848号、第7761291号）の技術を使用しています。



アクセラテクノロジ株式会社

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-19-19

恵比寿ビジネスタワー2F/10F(受付)

mail : marketing@accelatech.com

URL : <https://info.solutiondesk.jp/>